

「支援の手だてシート」

◇ 児童が活動内容や状況を理解しやすくするには

- ア 図や映像、手本となる活動を見せる。
- イ 操作活動、体験活動等を取り入れる。

△ 児童が見てより分かるようにするには

- ア まず全体に目を向けさせ、その後枠囲いするなど、見る場所を特定する。
- イ 見やすい文字の大きさや色使い等を工夫して、分かりやすい板書にする。

▽ 児童が聞いて理解しやすくするには

- ア 1度に1つの指示を簡潔に伝えるようにする。
- イ 話す人の方に注目させ聞く体制にしてから、ゆっくり、はっきり伝えるようにする。
- ウ 文字や絵、ジェスチャー等を織り交ぜながら伝えるようにする。

◆ 児童が自分の考えをまとめやすくするには

- ア 思いや考えを引き出すような言葉掛けをする。
- イ いくつかの中から自分の考えに近いものを選択させる。
- ウ 背景となることを文字や図に表すことで考えを引き出しやすくする。

■ 児童がより上手に書けるようにするには

- ア 児童に応じた適切な大きさのマス目や線の入ったものを使い、文字を書く箇所を分かりやすくする。
- イ 正しい文字や文をなぞらせたり、視写をさせたりして練習させるようにする。
- ウ 作文では、文章の書き方のパターンを提示する。

□ 児童がより上手に読むためには

- ア 児童の特性を理解しながら、発音の仕方や読む速さ、声の大きさ等に気を付けた読み方を示すようにする。
- イ 文節や単語の区切りを理解させ、適切な間の取り方等を示すようにする。
- ウ 教科書等の文字を読むことが苦手な場合は、文節や行ごとに区切ったり、色分けしたりして、必要でない箇所を隠して目から入る情報量を減らすようにする。

▼ 児童が相手に伝わるように話すには

- ア できるだけ自分の言葉で伝えるようにさせて、足りない言葉を5W1H等を聞きながら思いや考えを引き出すようにする。
- イ 話す前に書かせて、伝えたいことを確かめさせてから話させる。
- ウ 状況に応じた言い方や発表の仕方等のパターンを提示する。

☆ 児童が教師の指示や説明に集中するには

- ア 児童の気になる原因となるものをできるだけ排除し、環境を整える。
- イ 活動の流れが分かるように示し、今やるべきことが分かるようにする。
- ウ 今やるべきことが、児童にとって分かりやすく明確に伝わるように指示の仕方を工夫する。

★ 児童が気持ちや行動のコントロールをするには

- ア 活動の段階を細分化し、1段階終わるごとに褒めて達成感を味わわせる。
- イ 活動への取り組みを観察し、状況に応じて、意欲を喚起する言葉掛けを工夫する。
- ウ 作業時間を決め、時間を意識させながら取り組ませる。
- エ 活動の切り替えができるよう、適宜具体的で分かりやすい言葉掛けをする。
- オ 落ち着ける場所（決めておく）に移動させ、気持ちが切り替えられたら戻ってくるように促す。
- カ 気持ちを受け止めながら、行為を改めるよう留意したり、今、何をするときなのか具体的に指示をしたりする。